

仕訳例一覧①

●日常的によく使う仕訳

給与関連

給与の支払い(20日締め、翌月25日払いの場合)

諸手当も含める。パートやアルバイトへの給与は「雑給」とすることも

締め日と支払い日が異なる場合はいったん未払金として計上

〈締め日の仕訳〉

①各従業員の給与手当

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
給与手当	323,560	未払金	264,328	4月分給与額	
旅費交通費	12,000	預り金	1,007	雇用保険料	
		預り金	50,575	社会保険料	
		預り金	4,050	所得税	
		預り金	15,600	住民税	
借方合計	335,560	貸方合計	335,560	貸借バランス	0

通勤手当は消費税の課税対象となるため、給与手当に含めず、旅費交通費の勘定科目で仕訳

未払費用として計上

②社会保険料の事業主負担分

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
法定福利費	51,799	未払費用	51,799	社会保険料事業主負担分	
借方合計	51,799	貸方合計	51,799	貸借バランス	0

社会保険料の事業主負担分(上記の「社会保険料」+「子ども・子育て拠出金」の額)。実際には、従業員全員分の負担分の合計額を記帳する

〈支払い後の仕訳〉 ①各従業員への給与の振込

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
未払金	264,328	普通預金	264,768	4月分給与支払い	
支払手数料	440			振込手数料	
借方合計	264,768	貸方合計	264,768	貸借バランス	0

給与の振込手数料は会社負担のルール

②社会保険料の支払い

従業員負担分

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
預り金	50,575	普通預金	102,374	社会保険料従業員負担分	
未払費用	51,799			社会保険料事業主負担分	
借方合計	102,374	貸方合計	102,374	貸借バランス	0

会社負担分

③従業員給与の源泉所得税と住民税の支払い

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
預り金	4,050	普通預金	19,650	源泉所得税	
預り金	15,600			住民税	
借方合計	19,650	貸方合計	19,650	貸借バランス	0

売掛・売上関連

商品・サービスを掛けて販売した

実際には、従業員全員分の負担分の合計額を記帳する

〈売掛金の発生時〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
売掛金	330,000	売上高	330,000	掛け売上	
借方合計	330,000	貸方合計	330,000	貸借バランス	0

〈売掛金の回収時〉 相手方が振込手数料を負担

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
普通預金	330,000	売掛金	330,000	掛代金回収(A社)	
借方合計	330,000	貸方合計	330,000	貸借バランス	0

こちらが振込手数料を負担

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
普通預金	329,560	売掛金	330,000	掛代金回収(A社)	
支払手数料	440			振込手数料	
借方合計	330,000	貸方合計	330,000	貸借バランス	0

商品を値引き販売した(クーポン券による値引きも同じ)

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
売掛金	300,000	売上高	330,000	値引き販売	
売上値引高	30,000				
借方合計	330,000	貸方合計	330,000	貸借バランス	0

取引先にリベートを支払って売掛金と相殺した

勘定科目は「売上高」でもOK。借方の税区分は「課税売返」

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
売上割戻し高	330,000	売掛金	330,000	割戻し	
借方合計	330,000	貸方合計	330,000	貸借バランス	0

返品があり、返金した

返品を受けたときの勘定科目。借方の税区分は「課税売返」

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
売上戻り高	330,000	普通預金	330,000	返品	
借方合計	330,000	貸方合計	330,000	貸借バランス	0

前金を受け取った(150万円の仕事に対して50万円の手付金を受け取った場合)

〈手付金の受け取り時〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
普通預金	500,000	前受金	500,000		
借方合計	500,000	貸方合計	500,000	貸借バランス	0

前金を受け取ったときの勘定科目。貸方の税区分は「対象外」

〈商品やサービスの提供時(精算時)〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
売掛金	1,000,000	売上高	1,500,000	前受金から売上高へ振替	
前受金	500,000				
借方合計	1,500,000	貸方合計	1,500,000	貸借バランス	0

買掛・仕入関連

借方の税区分は「対象外」

引き渡し完了時に受け取った残金の100万円は「売掛金」として処理

商品・サービスを掛けて仕入れた

〈買掛金の発生時〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
仕入高	330,000	買掛金	330,000	掛け仕入	
借方合計	330,000	貸方合計	330,000	貸借バランス	0

〈買掛金の回収時〉 相手方が振込手数料を負担

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
買掛金	330,000	普通預金	330,000	掛代金支払い(B社へ)	
借方合計	330,000	貸方合計	330,000	貸借バランス	0

こちらが振込手数料を負担

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
買掛金	330,000	普通預金	330,440	掛代金支払い(B社へ)	
支払手数料	440			振込手数料	
借方合計	330,440	貸方合計	330,440	貸借バランス	0

仕入先に前金を支払い、商品を受け取り後、残額は掛仕入とした

〈前金の支払い時〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
前渡金	500,000	普通預金	500,000	前金(手付金)の支払い	
借方合計	500,000	貸方合計	500,000	貸借バランス	0

前金を支払うときの勘定科目。借方の税区分は「対象外」

〈商品やサービスの受け取り後〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
仕入高	1,500,000	前渡金	500,000	前金(手付け分)	
		買掛金	1,000,000		
借方合計	1,500,000	貸方合計	1,500,000	貸借バランス	0

商品を受け取った時点で「仕入高」となる

掛けで仕入れた商品に不良品が見つかり値引きされた

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
買掛金	330,000	普通預金	280,000	掛代金支払い	
		仕入値引高	50,000	仕入値引き	
借方合計	330,000	貸方合計	330,000	貸借バランス	0

値引きされたときの勘定科目(「仕入高」としてもOK)。貸方の税区分は「課対仕返」

期日前の支払いにより割引を受けた

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
買掛金	330,000	普通預金	327,000	掛代金支払い	
		仕入割引	3,000	仕入割引	
借方合計	330,000	貸方合計	330,000	貸借バランス	0

割引を受けたときの勘定科目(「仕入高」としてもOK)。貸方の税区分は「課対仕返」

掛けで仕入れた商品の一部を返品した

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
買掛金	55,000	仕入戻し高	55,000	返品	
借方合計	55,000	貸方合計	55,000	貸借バランス	0

返品をしたときの勘定科目(「仕入高」としてもOK)。貸方の税区分は「課税仕返」

その他

売掛金と買掛金で相殺された残額が入金された

税区分は「対象外」

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
普通預金	250,000	売掛金	330,000	掛代金の回収	
買掛金	80,000			買掛金の相殺	
借方合計	330,000	貸方合計	330,000	貸借バランス	0

現金出納帳の残高と実際の残高に過不足が発生。後日、売上の計上漏れが原因と判明した

〈過不足の発生時〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
現金過不足	500	現金	500	残高相違	
借方合計	500	貸方合計	500	貸借バランス	0

現金の残高に過不足があったときの勘定科目。借方の税区分は「対象外」

〈過不足の原因の判明時〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
現金過不足	500	売上高	500	X月X日の残高相違分	
借方合計	500	貸方合計	500	貸借バランス	0

銀行から借入金を保証料や1カ月分の支払い利息などを差し引いて入金された

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
普通預金	2,336,681	長期借入金	3,000,000	借入金	
租税公課	4,000			印紙代	
長期前払費用	577,500	保証期間が1年以下の場合は「支払手数料」とする		保証料(120カ月)	
支払手数料	50,000			借入事務手数料	
長期借入金	19,319			1カ月の元金分の返済	
支払利息	12,500			1カ月の利息分の返済	
借方合計	3,000,000	貸方合計	3,000,000	貸借バランス	0

借入金の元金分と利息分を返済した

元金分の返済。支払い利息と分けて仕訳する

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
長期借入金	19,400	普通預金	31,819	元金分の返済	
支払利息	12,419			利息分の返済	
借方合計	31,819	貸方合計	31,819	貸借バランス	0

返済期限が決算日の翌日から1年以内を切った場合、「長期借入金/短期借入金」の仕訳で、短期借入金に振り替え

クレジットカードで備品を購入し、後日、代金が引き落とされた

「未払金」と「未払費用」の使い分けに注意

〈購入時〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
消耗品費	6,600	未払金	6,600	インク代 C社カード	
借方合計	6,600	貸方合計	6,600	貸借バランス	0

〈引き落とし時〉

使途によって勘定科目を選ぶ

カード払いであることがわかるようにメモ

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
未払金	6,600	普通預金	6,600	C社カード支払い	
借方合計	6,600	貸方合計	6,600	貸借バランス	0

カード支払いの正しい仕訳は上記のとおりだが、決算月以外は購入時の仕訳を省略し、引き落とし時に直接「消耗品費 6,600/普通預金 6,600」としても許容される(税額が変わらないため)

車両を購入した

オプションは本体価格に含める

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
車両運搬具	1,600,000	普通預金	1,690,870	本体、オプション	
租税公課	9,700	借方の税区分は「対象外」		自動車重量税ほか	
保険料	27,330			自賠責保険料(37カ月分)	
預託金	8,840			自動車リサイクル料金	
支払手数料	45,000			登録代行手数料	
借方合計	1,690,870	貸方合計	1,690,870	貸借バランス	0

預託先に無利子で預ける金銭を処理する勘定科目。科目がない場合は作成するか、預け金などで処理

30万円部分のみが消費税課税売上

車両を売却した

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
普通預金	300,000	車両運搬具	300,000	車両帳簿価額	
固定資産売却損	175,507	車両運搬具	166,667	減価償却累計額を差し引いた、期首の帳簿価額	
売却額		預託金	8,840		
借方合計	475,507	貸方合計	475,507	貸借バランス	0

儲けがあった場合は貸方に「固定資産売却益」の勘定科目で記帳

購入時に預けた金額をそのまま記帳

事務所の移転に伴い敷金の一部が返金された

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
普通預金	200,000	敷金	500,000	敷金返却分	
雑損失	300,000	原状回復の相殺の場合は「修繕費」の勘定科目で記帳		敷金未返却分	
借方合計	500,000	貸方合計	500,000	貸借バランス	0

仕訳例一覧②

●決算期によく使う仕訳

前払費用の仕訳例

3年契約の損害保険料を支払った(期末:3月31日、保険料の支払い:前年11月1日)

〈手付金の受け取り時〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
保険料	144,000	普通預金	144,000	損害保険料(3年分)	
借方合計	144,000	貸方合計	144,000	貸借バランス	0

支払った全額を計上

翌期12カ月分の権利を前払費用として、資産に振り替え(繰り延べる)

〈期末時〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
前払費用	48,000	保険料	124,000	損害保険料(翌期分)	
長期前払費用	76,000			損害保険料(翌々期分)	
借方合計	124,000	貸方合計	124,000	貸借バランス	0

支払った保険料から、当期分の保険料(5カ月分)の20,000円と翌期分の48,000円を差し引いた金額を計上

〈翌期〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
保険料	48,000	前払費用	48,000	損害保険料への再振替え	
借方合計	48,000	貸方合計	48,000	貸借バランス	0

期末に資産として計上した分を、再度、保険料に振り替える

棚卸の仕訳例

期末の棚卸により、期首の在庫と期末の在庫を振り替えた

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
期首商品棚卸高	200,000	商品	200,000	期首分振替	
商品	500,000	期末商品棚卸高	500,000	期末分振替	
借方合計	700,000	貸方合計	700,000	貸借バランス	0

減価償却費の仕訳例

期末に年間の減価償却費を計上した

有形固定資産で間接法の場合。直接法の場合、該当の固定資産の勘定科目を使用 ※どちらも選択可能

〈有形固定資産、定額法の場合〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
減価償却費	800,000	減価償却累計額	800,000	建物減価償却	
減価償却費	400,000	減価償却累計額	400,000	車両減価償却	
借方合計	1,200,000	貸方合計	1,200,000	貸借バランス	0

固定資産のグループ別に年間合計額を算出

〈無形固定資産、取得価額500,000円、耐用年数5年、定額法の場合〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
減価償却費	100,000	ソフトウェア	100,000	ソフトウェア減価償却	
借方合計	100,000	貸方合計	100,000	貸借バランス	0

無形固定資産については各内容のわかる勘定科目を使用

期末に年間の一括償却資産について減価償却費を計上した

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
減価償却費	410,000	一括償却資産	410,000	一括償却資産償却	
借方合計	410,000	貸方合計	410,000	貸借バランス	0

$410,000\text{円} = 180,000\text{円}(\text{前々期の取得価額の合計}) \times 1/3$
 $+ 630,000\text{円}(\text{前期の取得価額の合計}) \times 1/3 + 420,000\text{円}$
 $(\text{当期の取得価額の合計}) \times 1/3$

一括償却資産については、取得した事業年度ごとに取得価額を合計し、3期にわたって全額を償却する

〈取得時(当期分)の仕訳〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
一括償却資産	420,000	普通預金	420,000	コピー機3台購入	
借方合計	420,000	貸方合計	420,000	貸借バランス	0

繰延資産の仕訳例

開業費として計上してあった30万円を3期目に一括償却した

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
繰延資産償却	300,000	開業費	300,000	償却	
借方合計	300,000	貸方合計	300,000	貸借バランス	0

法人税、法人住民税、法人事業税・特別法人事業税、消費税関連の仕訳例

期末に法人税、法人住民税、法人事業税・特別法人事業税を計上した

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
法人税等	180,000	未払法人税等	180,000	当期分の法人税、住民税及び事業税額	
借方合計	180,000	貸方合計	180,000	貸借バランス	0

翌期に法人税、法人住民税、法人事業税・特別法人事業税を納付した

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
未払法人税等	180,000	普通預金	180,000	法人税納付	
借方合計	180,000	貸方合計	180,000	貸借バランス	0

消費税の中間申告・納付をした

前事業年度の消費税の納付額が48万円超の事業者は、税務署から納付書が届く

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
仮払金	330,000	普通預金	330,000	消費税中間申告	
借方合計	330,000	貸方合計	330,000	貸借バランス	0

税抜経理では「未払消費税等」、税込経理では「租税公課」の勘定科目でもOK

消費税の確定納税額を計上した

〈税抜経理の場合〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
仮受消費税等	1,500,000	仮払消費税等	720,000	消費税精算仕訳	
		仮払金	330,000	中間消費税	
		未払消費税等	449,800	確定納付額	
		雑収入	200	消費税精算仕訳差異	
借方合計	1,500,000	貸方合計	1,500,000	貸借バランス	0

仕入や経費で支払った消費税の総額

消費税の中間納付をしていた場合

売上時に預かった消費税の総額

これから支払わなければならない消費税の納税額

税抜経理では、消費税の端数処理の影響で、仮受消費税と仮払消費税に差額が生じるため、「雑収入」「雑損失」で仕訳して調整する

〈税込経理の場合〉

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
租税公課	449,800	未払消費税等	449,800	確定納付額の未払処理	
借方合計	449,800	貸方合計	449,800	貸借バランス	0

税込経理では、上記の未払処理をせず、翌期に「租税公課449,800／現金449,800」の一度の仕訳で済ますこともできる。自社の処理方法を要確認

翌期に消費税を納税した(税抜経理、税込経理とも)

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	摘要	
未払消費税等	449,800	普通預金	449,800	確定消費税額	申告納付
借方合計	449,800	貸方合計	449,800	貸借バランス	0